

平成30年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.139

H31. 3. 1 「卒業証書授与式」

快晴、卒業生の前途を祝すかのような陽光差し込む中、「旭川永嶺高等学校第3回卒業証書授与式」を挙行政いたしました。多数のご来賓並びに保護者、在校生から盛大な祝福を受け、270名の卒業生が学舎を巣立っていきました。



卒業生の立派に成長した姿を目のあたりし、この3年間の高校生活を通して、一人一人が学び身につけてきたことの大きさを改めて感じました。人としての役割や社会との関わり的重要性を体得し、自分の生き方や在り方を幾度となく見つめ、多くの仲間と様々な課題を解決してきた経験は、何にも代え難い大きな力であり、今後も揺るぎない自信となることと確信しています。

輝かしい未来に向け、常に前向きに、挑戦する心を忘れることなく、目標の実現に向けて強い信念と意志を持ち、歩み続けてくれることを願っています。

また式典の中で同時に行った皆勤賞表彰では、21名の生徒が受賞しました。3年間、無欠席・無遅刻・無早退を貫いた強靱な精神力に心から敬意を表します。学校表彰では、男子バスケット、弓道、剣道、吹奏楽の皆さんが、全道や全国での活躍が高く評価され受賞しました。



卒業式の挙行政にあたり、地域の皆様方をはじめ、多数の関係各位からご支援を賜りました。この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

All for one, and one for all. No.140

H31. 3. 8 「救急救命講習」



1年次生全員を対象とした「救急救命講習」を、市消防署の皆様にご指導をいただきながら、8日と11日の2日に分けて実施しました。

緊急時に遭遇した際、冷静に適切な処置をすることは容易なことではありません。かと言って、そうした状況を避けて通ることなど決して許されません。

この講習は、「人工呼吸やAED」を実際に使用しながら、誰もがいかなる状況でも慌てることなく正しい言動が取れることを目的としています。尊い命に関わることだけに、生徒たちの一挙一動にも真剣さが伺えました。



H31. 3.13 「1年次保健講話」

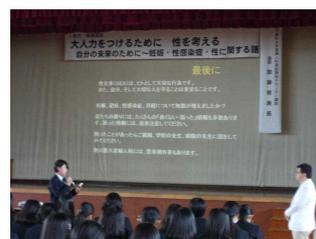


1年次生を対象に「保健講話」を実施しました。この講話は、生徒の成長や発達段階に併せて年次ごとにテーマを決め、生涯にわたり健康に関わる内容について、専門の外部講師から詳しいお話を伺います。

今回は、様々な「性」について理解を深め、健康や命の大切さを考えることをテーマに実施しました。講師には、旭川医科大学周産母子センターの加藤 育民氏をお招きし、パワーポイントを併用しながら、性に関する正しい知識や互いに尊重し合う対人関係の重要性について学びました。

これを機に、自らの健康維持について考えを深め、明るく幸せな人生を歩んでくれることを願っています。

講師の加藤先生には、ご多忙にも関わらず貴重な時間を割いていただきました。心より感謝申し上げます。



H31. 3.15 「先輩と語る会」

今春の卒業生は、旭川永嶺高校開校時の入学生で、新しいカリキュラムの最初の年次ということから、1年次より進路を意識した取組を進めてきました。生徒の頑張りもあり、上級学校への入試においては、輝かしい成果をあげることができました。

この会は先輩方の受験勉強法や部活動との両立等について経験談を語ってもらい、在校生の進路意識の高揚や学習意欲につなげることを目的としています。

全体会では、3年次生の過ごし方や学習に対する心がけについてアドバイスを受けました。その後、進路希望別に分かれて、座談会形式で具体的な受験対策を聞きました。

在校生にとっては、自分の置かれている状況に合わせた「学習スタイル」を考える良いきっかけづくりになったことと思います。



H31. 3.16~17 「定期演奏会」

二日間にわたる吹奏楽局「第3回定期演奏会」を、関係各位の多大なるご支援のもと、成功裏に終えることができました。心より感謝申し上げます。

さて今回の演奏会は、様々な場でご活躍中の速水けんたろう氏と安土百合野氏のお二方を特別ゲストにお招きし、幅広い世代の皆様楽しんでいただけるよう趣向を凝らした演

奏会となりました。

本校吹奏楽局の特色は、なんと言っても常に新たな試みにチャレンジすることです。新メンバーもこの定期演奏会に向けて、試行錯誤を繰り返しながら日々練習に努めてきました。本格的なクラシックやアンサンブルはもちろん、ダンプレ、マーチング、ミュージカルとあらゆるジャンルをこなすことは並大抵のことではありません。

生徒たちが自主的に、気持ちを一つにして取り組んできた大きな成果であります。定期演奏会のために戻ってきた今春の卒業生も、後輩たちとの最後の演奏に特別な思いが込み上げてきたことでしょう。

苦労を重ねながらも、自ら思考し、感じ、創り、発表するからこそ、多くの人を感動させることができるのだと思います。今回も本当に素晴らしい演奏会でありました。



All for one, and one for all. No.144

H31. 3.20 「進学指導保護者説明会」

まもなく最上年次となる2年次生の保護者の皆様を対象に「進学指導保護者説明会」を実施しました。いよいよ個々の進路実現に向け、本格的に始動する時期となりました。

今春の卒業生も、2年次でのこの時期における生活習慣が進路希望実現の決め手となり、大きな成果につながりました。



年度末年度始めの休みを上手に活用し、綿密な計画のもと実践モードに入れるかどうか「将来を決めるカギ」となります。

本説明会には、お忙しい時間帯にも関わらず、約130名程の保護者の皆様ご来校くださいました。

3年次での進学指導の流れを柱に、今春の卒業生の進路実績、入試制度の仕組み、奨学金などについてご説明をさせていただきました。

All for one, and one for all. No.145

H31. 3.21 「離任式」

終了式を終えた後、引き続き離任式を行いました。今年度をもってご退職、並びにご転出になられる教職員お一人お一人から、在校生に激励の言葉が贈られました。心のこもった温かな言葉に、生徒も真剣に耳を傾けていました。

3月は卒業生と、そしてお世話になった教職員との別れの季節でもあります。寂しいことですが、本校を離れる側も残る側も、皆同じ学舎で過ごしたことをいつまでも忘れることはありません。

どこにいても、互いのことを思い、互いを敬い、互いの幸せを願っているものです。



H31. 3.28 「平成30年度」



卒業式で3年次生を見送り、終了式で日々顔を合わせている在校生ともしばしお別れと、毎年のことながら何とも寂しい月です。さらに今日は、今年度をもって学校を去られる教職員の辞令交付を行いました。凌雲時代も含め、再編統合をともに手がけてきた同僚との別れはととも寂しいものです。今後も、ご健康に留意され、新天地でのさらなるご活躍を心から願っています。

そんな思いに浸っていると、以前面接練習をした卒業生が、結果報告を兼ね校長室を訪れてくれました。残念ながら第一希望は叶わなかったとのことですが、次の希望校に晴れて4月から通われると聞き、祝福とともに、「がんばれ〜!!」という思いが沸き起こります。社会に出る時は、必ず希望の道に進んでくれるものと確信しています。

最近、社会そのものの変化かもしれませんが、年齢を問わず、こうしたコミュニケーションが日本の文化から薄れつつあるような気がします。

面接練習の際には色々お話しもするのですが、大半はそれっきりで、今日のように結果報告を兼ね挨拶に来てくれる生徒も少なくなりました。来にくい状況もあるのかもしれませんが、人との関わりはその時だけではないようにも思います。今日の出来事は、立場抜きに人として尊敬の念を抱く一事となりました。

